

# 【肺非扁平上皮アテゾリズマブ+Bev+CBDCA+PTX療法について】

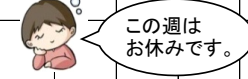
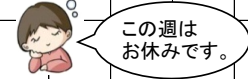
(テセントリク+アバステン+パクリタキセル+カルボプラチン)

様

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前			作用			めやすの時間			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
イメドカプセル	吐き気止めです	1日1回 内服																												
グラニセトロン注 デキサート注 ファモチジン注 ボラミン注	副作用を抑える薬です	30分																												
テセントリク注(1200mg/body)	抗がん剤です	60分		2回目から投与時間が短くなる場合があります。																										
アバステン注(15mg/kg)	抗がん剤です	90分		2回目から投与時間が短くなる場合があります。																										
パクリタキセル注(200mg/m <sup>2</sup> )	抗がん剤です	3時間		2回目から投与時間が短くなる場合があります。																										
カルボプラチン注(6・GFR+25)mg	抗がん剤です	1時間		2回目から投与時間が短くなる場合があります。																										
デカドロン錠	吐き気止めです	朝 内服				1回2錠																								



😊 **治療による副作用**

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	過敏症	痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がする場合があります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	筋肉痛・関節痛	肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																					
	口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																					
	手足のしびれ	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																					
	便秘	水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いので、お知らせ下さい。																					
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがい心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
	肝機能低下	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																					

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 血圧上昇 ●出血(鼻血など) ●タンパク尿 ●胃腸穿孔(下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など) ●傷の治りが遅い
- 血栓・塞栓(足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど)

免疫関連有害事象:別紙参照

※実際の投与スケジュールと異なる場合があります。  
本資料は参考としてお使いください



- \* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- \* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- \* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- \* 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。